平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語4(English 4)			授業コード	A027861
担当教員名	津田 克巳			科目ナンバリングコード	A20308
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修生はプレイスメントテスト(レベルチエックテスト)を受け、その結果に応じて決められた講義に出席する。課題(プロジェクト)に積極的に取り組む心構えのある学生が履修すること。				
受講心得	受け身の姿勢で授業に取り組むのではなく、課題にチャレンジするという積極的姿勢が必要。				
教科書	青木雅幸『大学生の英語基礎演習』(南雲堂)				
参考文献及び指定図書	豊永彰『英文法　ビフォー＆アフター＜改訂新版＞』(南雲堂)、佐藤誠司『大学生のための英語構文・文法完全理解ハイギア』(南雲堂)、中村徳次『なるほど納得　英語の常識』(朝日新聞社)、バーダマン／三川基好『スヌーピーが先生！英語で話そう。』(朝日新聞社)、秋本弘介『英語のことわざ』(創元社)、『英語便利辞典』(小学館)、牧野髙吉『英語の論理　日本語の心』(ちくまプリマー新書025)、小山内大『＜クイズ＞英語生活力検定』(大修館書店)、小山内大『＜クイズ＞英語生活力検定2』(大修館書店)、小池直己・佐藤誠司『英語ネイティブ度判定テスト』(大修館書店)、大堀勝弘『カメレオン英単語』(講談社インターナショナル)、リサ・ヴォート『笑顔になれるポジティブ英語メモ』(実業之日本社)、イ・ジョンミン『ドーナツ半分は単数形？　複数形？』(講談社インターナショナル)、里中哲彦『英語の質問箱』(中公新書2086)、里中哲彦『英文法の魅力』(中公新書2165)、里中哲彦『英文法の楽園』(中公新書2231)、リサ・ヴォート／薄羽美江『超一流の英会話』(Jリサーチ出版)。				
関連科目	英語1・2・3、基礎学力講座・国語、文章表現基礎講座、情報リテラシー1・2。				

授業の目的	「英語3」に引き続き、特に英語の力に自信のない人に配慮して、基礎的な学習を行います。語学は努力しなければいつまでたっても上達しません。今からでも遅くないので、真剣に学習に取り組む姿勢が大事です。Better late than never.(遅くともしないよりはまし。)教科書は「3」と同じです。
授業の概要	大学生として必要な基本的な英語力を培うために、文法力と作文力とを身につけさせることを意図し、練習問題によって学生の主体的な学習を促します。基礎学力の十分でない学生のためにある程度の講義を行いますが、同時に学生たちの積極的な授業参加を求めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : クラス分け試験 クラス分けのための試験を行います。これを受けない学生は配属クラスが決まらず、したがってこの科目の履修ができません。	欠席しないことを心がける。
第 2 週 : クラス分けおよび半期の学習についてのオリエンテーション クラス分けを確認した後、授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、成績評価の行い方等についての説明を行います。	予習:伝達事項をよく確認する。
第 3 週 : Unit 12: Human Faces and Figures (1) Introductory Reading (1).	予習:本文に目を通して意味を考える。
第 4 週 : Unit 12 (2) Introductory Reading (2). Questions.	予習:問の答えを考える。
第 5 週 : Unit 12 (3) Grammar Review. Useful Vocabulary and Expressions (What is … like?).	予習:空欄を案を補充し、語彙や表現を自習する。

第 6 週 : Unit 12 (4) Answer these questions about your family members and yourself.	予習:問に対する答えの文を作る。
第 7 週 : Unit 13: The Weather (1) Introductory Reading (1).	予習:本文に目を通して意味を考える。
第 8 週 : Unit 13 (2) Introductory Reading (2). Questions.	予習:問の答えを考える。
第 9 週 : Unit 13 (3) Grammar Review. Useful Vocabulary and Expressions (Weather Terms / Past, Present and Future).	予習:空欄を補充し、語彙や表現を自習する。
第10週 : Unit 13 (4) Answer these questions about the weather in Japan.	予習:問に対する答えの文を作る。
第11週 : Unit 14: Seasons and Months (1) Introductory Reading (1).	予習:本文に目を通して意味を考える。
第12週 : Unit 14 (2) Introductory Reading (2). Questions.	予習:問の答えを考える。
第13週 : Unit 14 (3) Grammar Review. Useful Vocabulary and Expressions (Seasons / Months).	予習:空欄を補充し、語彙や表現を自習する。
第14週 : Unit 14 (4) Answer these questions about the seasons.	予習:問に対する答えの文を考える。
第15週 : おさらい 前週までの学修事項を振り返り、よりよい理解のために追加説明を行います。	予習:前週までの学修事項を確認し、疑問点を洗い出す。
第16週 : 期末試験 第3週から第15週までの授業内容に関する試験を行います。	予習:前週までの学修事項をきちんとおさらいする。

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	日本語と並んで英語に関心を抱き、積極的に学ぼうとする。
【知識・理解】	日本語とは異なる英語という言語について基本的な性格を把握する。
【技能・表現・コミュニケーション】	簡単な英文の音読・読解ができ、簡単な会話・作文が行える。

【思考・判断・創造】	英語を通して世界を見ることにより、日本語だけによる場合との相違に気づく。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			45点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	45点			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	5点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	5点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	